



地域へ出て活動しよう!

栃木県立国分寺特別支援学校 教諭 小島 友香

本校は知的障害を有する小学部・中学部・高等部・訪問教育学級の児童生徒が在籍しています。新型コロナウイルス感染症により、地域の方に来校していただく機会が減少している中、今年度は児童生徒が学校から地域に出て活動することを目標に取り組みました。その活動の一つが、「いちご一会運動オールとちぎプロジェクト」への参加です。学校近隣の上野花園さんにマリーゴールドの種からの育て方を教えていただき、きれいに咲いた花を、駅・郵便局・公民館・保育園・児童生徒の居住地（下野市、小山市、野木町、上三川町）に飾らせていただきました。また、学校周辺の清掃活動にも取り組む中で、地域の方々にたくさん支えていただきました。地域の方と触れ合いながら活動することをおして、児童生徒自身が気づき、考え、行動するなどの変容が見られるようになりました。

地域の方のあたたかさや、地域の教育力を感ずることができました。



リレー「となりの社教主事 54」

あのときの理想の姿が、いま目の前に

栃木市立国府南小学校 教頭 坂井 秀勝

2月22日の夕刻、「コミスク推進拡大会議」が終わろうとしています。令和元年から始まった本校のこの会議は、教職員11名を含むコミスク推進委員30名でこの日、学校教育目標実現のための令和7年度までの「未来の姿」を話し合っていました。運動会のこと、社会科見学、放課後教室、公民館との連携、ついには働き方改革についてまで。最後に、発足から関わっていただいている講師の廣瀬先生のお話。「学校のことを話し合っているのに、大人の話ばかり。自分たちに何ができるかを話し合っている。すごいね。」「いい学校はいい地域にある。大人が頑張れば子どもも頑張る。大人も楽しめば子どもだって楽しい。」まさにそのとおりの話し合いでした。

私が社教主事講習で学んだのがちょうど20年前。当時理想の学校・地域ってそうなんだろうなと思って聞いていた廣瀬先生のお話を、この日思い出しました。コミスク推進委員は現在84名となり、この3年間、コロナ禍にありながら着実に実績を重ねてきています。「地域とともにある学校」の、更なる発展を目指してこれからも邁進していきます。私も一助になれば。地域とともに頑張ります。

雑感

はじめの一步

壬生町教育委員会事務局生涯学習課
課長補佐兼社会教育主事 町田 直美

今年度より教育現場を離れ、壬生町社会教育主事として勤務し、1年が経とうとしています。講習を受けてから8年の時が過ぎており、正直、不安でいっぱいでした。たった1日を境に、教員から社会教育主事へと切り替わる変化に、自分の気持ちも知識も追いつかない苦悩の日々でした。壬生町社会教育主事の先輩方からの温かな言葉かけやアドバイスをいただき、一步を踏み出す勇気が持てました。バトンを受け取り、縦の絆を紡いでいます。

私が今、一緒に仕事をさせていただいている方々は周囲の幸せを願うことができる方々ばかりで、心から尊敬できる壬生町の宝です。人の幸せのために絆を紡ぐ姿を目の当たりにし、少しずつ社会教育主事としての役割を自覚させていただきました。縦の絆（歴代の社教主事の思い）と横の絆（地域の方々の思い）を縦横無尽に紡いでいき、壬生町の方々を温かく包み込むコーディネートができる社会教育主事になればいいなと思う今日この頃です。



Nowface R4年度 新たに社会教育主事講習を修了した仲間を紹介します!!

学んだのは、よりよい「社会」を作る「教育」 小山市教育委員会事務局生涯学習課

主査 堀 達哉



教育に携わる方々の社会教育に関する真摯で誠実な歴史を学び直し、改めて私たちの国の民主主義を支える生涯学習のあり様（よう）やあり方に想いを馳せる講習期間でした。

各地の事例や集合学習で出会った皆さん方の楽しくも真剣に社会を想う取り組みに大いに励まされ、多くを学び、この先の糧をいただいた心持ちです。精一杯、社会と所属に返してまいります！



発行 下都賀地区生涯学習研究会
事務局 下都賀教育事務所ふれあい学習課内

TEL 0282-23-3422 / FAX 0282-23-3502
E-mail shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp